

史跡池上曾根遺跡保存活用計画（案）に対する

パブリックコメントの結果について（報告）

- 1 意見等募集期間：令和3年1月1日（金）～ 令和3年1月25日（月）
- 2 意見等募集方法：郵送、ファックス、電子メール、生涯学習課へ持参（また、市内公共施設等に意見募集箱を設置）
- 3 意見等提出者数：個人 泉大津市5名 和泉市2名 計7名
- 4 意見等提出件数：泉大津市12件 和泉市3件 計15件
- 5 主な意見と市の考え方

泉大津市

No.	頁	章	節	タイトル	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
1	95	9	2	活用の方法	観光資源としての価値を一般の方に認知していただくことで、遺跡の歴史的意義や重要性に気付いて貰う契機とする。具体策として、全国各地の遺跡で最近よく利用されているVRを用いて遺跡の概要を体感して貰う。プロジェクションマッピングで集客する（いずみの高殿に映像を投影する等）。弥生時代の食べ物をアレンジしてレストランで提供する。弥生時代の衣服や土産物グッズ等を商品開発してショップ等で売り出す等。	ご指摘の通り、PR活動が重要であると認識しており、今回、9章第2節-4に観光資源としての活用方針を定めております。いただいたご意見を参考に、今後具体的な活用方法を検討してまいります。
2	95	9	2	活用の方法	生涯学習の場として市民にもっと知ってもらうために、南海本線松ノ浜駅から府道松原線をウォーキングして古池公園の100本桜を観賞し曾禰神社本殿を通過し、弥生遺跡の神殿、弥生情報館そして弥生学習館へ案内するルートのパンフレット（リーフレット）・ホームページを作成しもっと市民の人にPRする必要があると思われる。	

3	95	9	2	活用の方法	池上曾根遺跡を活用して、たくさんの人に来ていただき泉大津のことをもっと知ってもらいたいと思う。この史跡公園にも、泉大津市や和泉市の特色を生かした道の駅のようなものがあれば、たくさんの人に来てもらえるのではないか。以前、この公園に道の駅ができると聞いたが、いつ頃できるのか。	史跡池上曾根遺跡は国指定の史跡であることから、道の駅をつくることはできませんが、地域の誇りと魅力を育むような場にしていきたいと考えております。 今後、市街地にある史跡という利点を生かしつつ、多くの方々が集う、憩う、学ぶ、そして育つ史跡公園をめざしてまいります。
4	95	9	2	活用の方法	現在未整地に浅い池を3ヶ所作り、川魚（日本古来）のフナ、コイ、モロコ、ドジョウ及び別にホタルの池を整備し、子どもたちが魚取り、釣りができるようにする。	史跡池上曾根遺跡の本質的価値を確実に未来へ継承し、周辺環境を含め適切に保存管理を行っていくため、ご提案の内容のような池の造成については考えておりませんが、今後、弥生時代の池上曾根遺跡が感じられる自然環境の整備を含め、様々な可能性を探ってまいります。
5	95	9	2	活用の方法	3ヶ所の池を造成し計画的に水抜きして、魚のつかみ取り、魚釣り大会、ホタル観賞会を行う。これを地域のボランティアの団体等で運営することで、まちづくりの一環として地域の人々に愛着ある公園として活用される。	また史跡公園の運営に関しましても、地域の方に愛着をもっていただけるようなあり方を検討してまいります。
6	95	9	2	活用の方法	遺跡公園を開園した当時の規模に近い形での各種イベントを実施する。また、府立弥生文化博物館・泉大津市立弥生学習館等を会場に、講演会等を定期的開催する。その際、広報活動に力を入れ、参加の機運を盛り上げ、参加数を増やすことをめざす。	ご指摘のとおり、府立弥生文化博物館、弥生学習館、史跡公園と連携を図ることは重要だと認識しております。今後三者が連携し、より魅力あるイベントの充実を検討してまいります。

7	97	10	2	整備の方法	この公園にはちゃんとした駐車場やきれいなトイレがない。今の時代、たくさんの人に来てもらうためには、駐車場やきれいなトイレは絶対に必要である。利用者にも喜んでもらえ、リピーターの獲得もできるのではないではないか。	現状では史跡公園内の情報館にトイレ機能が付加されております。第2期整備では、整備範囲が広がるため、来訪者の利便性を考慮し、新たなトイレの設置も検討してまいります。また駐車場につきましては、多くの方々に利用いただくために必要であると認識しておりますが、国史跡地内には設置することができません。
8	97	10	2	整備の方法	観光資源として活用するには 1. 駐車場の整備（有料として24時間使用できる） 2. トイレ 手洗い所の整備	計画に記載のとおり、公共交通機関の利用を促すとともに、周辺の既存駐車場の有効活用等を検討してまいります。
9	97	10	2	整備の方法	泉大津市側の最寄駅として南海本線松ノ浜駅となっているが、駅からどのように行ったらいいのか、看板もないのでわかりにくい。遺跡や弥生学習館の宣伝も兼ねて案内看板が道路にあれば便利だと思う。	ご指摘の通り、南海本線松ノ浜駅から史跡への案内看板などが十分ではなく、経路が分かりにくい状態であると認識しております。今後、案内看板の設置なども検討してまいります。
10	97	10	2	整備の方法	現状では、博物館・学習館と遺跡とがそれぞれ孤立している感がある。博物館・学習館で学び、知識を入れてから遺跡を見学すれば、より遺跡の事が理解でき、その魅力を実感できると思うので、博物館・学習館と遺跡をつなぐアプローチにパネルや写真を一定の間隔で配置し、博物館・学習館から遺跡に人を誘導するような工夫ができないものかと思う。	ご指摘の通り、史跡公園・弥生学習館・大阪府立弥生文化博物館が分断され、利用者にとって経路が分かりにくく、また一体的な活用がされていない状態であると認識しております。今後、一体的かつ効果的に活用できるよう、動線整備と連携した事業の充実を検討してまいります。

11	97	10	2	整備の方法	<p>遺跡の魅力を伝えるような動画を制作して YouTube にアップする。かつて NHK で特番が組まれたような形で番組をオンエアして貰う。</p> <p>広報活動はすぐに効果を得られる代物ではなく、愚直に継続することも必要でありかつ意義あることではないか。</p>	<p>ご指摘の通り、マスコミや SNS などを活用し、広く史跡池上曾根遺跡の魅力を情報発信してまいります。</p>
12	100	11	2	運営と体制の方法	<p>学校と連携して、フィールドワーク、土器・勾玉・ガラス玉・銅鏡・銅鐸等の製作などを周辺の小・中・高等学校に学校行事として組み入れてもらう。</p> <p>図書館には、定期的に池上曾根遺跡のコーナーを設けてもらい、利用者への認知度を高める。</p> <p>公民館で、定期的に展示・イベント・講演等の催しを企画し実施する。</p>	<p>社会教育、学校教育のいずれの場においても、地域の人びとが生涯にわたって豊かに暮らしていくための魅力ある学習の場の提供を進めてまいります。</p>

和泉市

No.	頁	章	節	タイトル	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
1	95	9	2	活用の方法	せつかくすばらしい遺跡があるのに、知名度が低いと思う。もっとPRをして観光に活かして欲しい。	ご指摘の通り、PR活動が重要であると認識しており、今回、9章第2節-4に観光資源としての活用方針を定めております。今後具体的な活用方法を検討してまいります。
2	97	10	2	整備の方法	史跡公園で夜中騒いでいる人やバイクで乗り入れる人がおり、非常に迷惑している。防犯対策をしっかりして、安全な公園にしてほしい。	ご指摘の状況については把握しており、防犯対策の重要性は認識しております。防犯カメラの設置や夜間の史跡公園への立ち入りを制限するようなフェンスの設置等も検討してまいります。
3	97	10	2	整備の方法	道路沿いに木が茂っており、見通しが悪い。看板なども無いので、どこから入っていいかわからないし、なにがあるかもわかりにくい。見たい目がよければ、もっと人が来るのではないか。	道路沿いに木々を茂らせることで、史跡公園を現代の景観から分かれ、より弥生時代の雰囲気を感じられることを目指しておりましたが、ご指摘のとおり、案内看板も少なく、現状では史跡公園の存在がわかりにくくなっているという一面もあります。今後は、多くの方が訪れやすい、明るく開けた史跡公園にするよう、検討してまいります。